



# Cisco Unified Intelligence Center

- [新機能, on page 1](#)
- [更新済み機能, on page 2](#)
- [特記事項, on page 3](#)
- [廃止された機能, on page 4](#)
- [削除され、サポートされない機能, on page 4](#)
- [サードパーティ ソフトウェアへの影響, on page 4](#)

## 新機能

### ユーザ エクスペリエンスの変更

このリリースでは、次の管理コンソールのエンティティを設定、編集、および管理するためのユーザ エクスペリエンスが向上しています。

- User Management
- デバイス設定
- ログとトレースの設定
- コントロール センターの管理
- クラスタの設定
- ツール管理

詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/customer-collaboration/unified-intelligence-center/products-maintenance-guides-list.html> にある『Cisco Unified Intelligence Center 管理コンソールユーザ ガイド』を参照してください。

## CUIC CORS の有効化

このリリースでは、管理者は、Unified Intelligence Center の Cross-Origin Resource Sharin (CORS) に対して次の操作を実行できます。

- CORS ステータスの有効化、無効化、および表示
- 許可されたヘッダーの追加、削除、および一覧表示
- 無防備なヘッダーの追加、削除、および一覧表示
- 許可された起点 URL の追加、削除、および一覧表示

Unified Intelligence Centre のガジェット (ライブ データおよび履歴) を Cisco Finesse にロードするには、次のことを行う必要があります。

- **utils cuic cors enable** コマンドを使用して、CORS を有効にします。
- **utils cuic cors allowed\_origin add URLs** コマンドに、Finesse のホスト URL を設定します。

ライブ データ ガジェットの場合は、上記の設定に加えて、**utils live-data cors enable** コマンドを使用して CORS を有効にすると同時に、**utils live-data cors allowed\_origin add URLs** コマンド内で Finesse のホスト URL を設定する必要があります。詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/customer-collaboration/unified-intelligence-center/products-maintenance-guides-list.html> にある『Cisco Unified Intelligence Center 管理コンソール ユーザ ガイド』を参照してください。

## 更新済み機能

### ユーザ ロールの変更

- 現在サインインしているユーザのユーザアカウント情報を変更すると、そのユーザは自動的にサインアウトされます。
- サインインしているユーザが別のユーザーの [選択した権限で実行 (Run As)] モードにいる場合、そのいずれかのユーザのアカウント情報を変更すると、[選択した権限で実行 (Run As)] モードが停止します。

### ダッシュボードのカスタム ウィジェットの有効化または無効化

このリリースでは、インジェクションの脆弱性に対処するために、ダッシュボードのカスタム ウィジェット機能はデフォルトで無効になっています。Unified Intelligence Center 12.5 に対して旧バージョンのダッシュボードに追加済みのカスタムウィジェットはすべて、バージョン 12.5 へのアップグレードを通知する読み取り専用モードで表示されます。そのウィジェットを保持するか、または削除するかを選択できます。

**set cuic properties dashboard-customwidget-enabled** の CLI を使用して、管理者は **カスタム ウィジェット** 機能を有効または無効にできます。

詳細については、

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/customer-collaboration/unified-intelligence-center/products-maintenance-guides-list.html> にある『Cisco Unified Intelligence Center 管理コンソール ユーザ ガイド』を参照してください。

## 特記事項

### 管理コンソールへのアクセス

管理コンソールにアクセスするための URL は、<https://<HOST ADDRESS>/oampui> です（HOST ADDRESS はサーバの IP アドレスまたはホスト名）。

ユーザの **ポリシー情報** を設定するには、従来の OAMP のユーザインターフェイス（<https://<HOST ADDRESS>/oamp>）にアクセスする必要があります。

### アップグレード時の証明書の削除

アップグレードが正常に行われると、シスコによって未承認となった CA はプラットフォームのトラストストアから削除されます。それらは必要に応じて再度追加することができます。

- シスコがサポートする CA のリストについては、<https://www.cisco.com/security/pki> にある『Cisco Trusted External Root Bundle』を参照してください。
- 証明書の追加の詳細については、「[Insert a new tomcat-trust certificate](#)」を参照してください。

### 大規模スケジュールのアップグレード時の頻度

Unified Intelligence Center バージョン 12.5 にアップグレードした後、頻度が 1 日に 1 回を超えるすべての大規模なスケジュールは、1 日に 1 回だけ実行するように変換されます。

### レポートのしきい値：画像の場所

このリリースでは、Unified Intelligence Center サーバから到達可能な画像 URL のみがサポートされています。画像に対して許可される最大サイズは 5 MB です。

### 言語 COP のインストール

Cisco Unified Intelligence Center をインストールまたはアップグレードした後、そのインターフェイスを英語以外の言語で使用する場合は、言語パックの COP をダウンロードしてインストールする必要があります。

## 廃止された機能

### Internet Explorer 11

このリリースでは、Internet Explorer バージョン 11 は推奨されていません。

## 削除され、サポートされない機能

### Cisco Unified Intelligence Center のライセンス

このリリースでは、Cisco Unified Intelligence Center の新規インストール時、またはアップグレード時のライセンスの適用は削除されています。

デフォルトでは、バージョン 12.5 のインストール時またはアップグレード時のライセンスで Cisco Unified Intelligence Center がプロビジョニングされます。

### Unified Intelligence Center の HTTP サポート

このリリースでは、Unified Intelligence Center の HTTP サポートが削除されています。ユーザは、HTTPS を介して Unified Intelligence Center と安全に通信できるようになりました。

次の CLI は、Unified Intelligence Center リリース 12.5 から削除されています。

- show cuic properties http-enabled
- set cuic properties http-enabled
- show cuic properties hsts
- set cuic properties hsts on [秒単位の最大有効日数の値]
- set cuic properties hsts off

### Office 365 の認証済み Excel パーマリンク

認証された Excel レポートのパーマリンクは、Office 365 ではサポートされていません。

### MediaSense レポート

このリリースでは、MediaSense レポートが削除されたため、ユーザは MediaSense レポートを実行できません。

## サードパーティ ソフトウェアへの影響

なし。